

福生第三中学校の皆さん

ありがとうございます！



ZANMAI(ざんまい)
中高生向けせいせん図書
リストはこちらから↓



図書館からのおすすめ！

図書館からのお知らせ

読書リーダーを紹介します！

☆読書リーダーとは？

本の楽しさ、魅力を発信するための活動を行っており、福生市内の小学生から高校生のメンバーが定期的に図書館で活動しています。

☆活動の様子

本の楽しさを発信するため、様々な活動にチャレンジしています。ここでは、活動の一部をご紹介します。

【福袋作り】

袋を開けるまでどんな本を借りたのか分からない、ゲーム感覚で楽しめる本の詰め合わせを作成しました。作成した福袋は1月中、窓口で貸出できるようにしました。

【心に残った一文を紹介】

自分のおすすめしたい本の中で、特に心に残った一文と、その一文を選んだ理由や読んだ感想を、本に巻く帯に書いて、本の帯を作成しました。



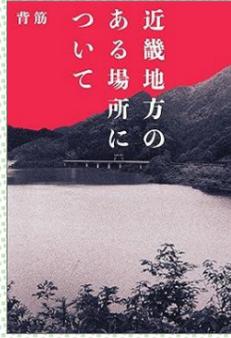
本の帯の展示



作成した福袋

これからも、色々な活動をしていきます。読書リーダーの活動成果を見に来てくださいね！

近畿地方のある場所について



背筋／著
KADOKAWA／刊
(2023年)



背筋と名乗るライターの主人公は友人であり編集者である小沢と一緒にオカルト雑誌を作っていた。

そして、いくつかの不気味な怪談に近畿地方のある場所がかかわっているのではないかとする仮説を立てた二人は、調査と考察を進めていく。

しかし、ある日小沢は現地へ行くと言い残し失踪してしまうのだった。

背筋は行方不明者になった小沢の目撃情報を募るため、様々な媒体・メディアから関連する情報をまとめた『近畿地方のある場所について』というWEBページを作り、情報提供を呼びかけていく。

だが、これらの情報と近畿地方のある場所には恐ろしい事実が隠されていて――。

ペンネーム：T. S



硝子の塔の殺人



知念実希人／著
実業之日本社／刊
(2021年)



『硝子の塔の殺人』は、雪の山奥に建つ塔を舞台にしたミステリー小説です。

その塔には、過去に殺人に関わった人たちが集められています。

外に出られない状況の中で、次々と事件が起こり、『なぜこんなことが起きているのか』『犯人は誰なのか』と考えながら読むことができます。

閉ざされた空間で起こる事件や、犯人を推理していく展開が楽しめるかと思えます。

タイトルや設定からも、少し怖くて緊張感のある物語だと感じます。

ミステリーが好きな人や、ハラハラする話に興味がある方におすすめです。

ペンネーム：S. K



「下積み図鑑 すごい人は無名のとき何をしていたのか？」



真山知幸／著
伊達努／イラスト
笠間書院／刊
(2025年)

☆どんな作品？

偉人(この本の中では「すごい人」と表現されます。)が有名になる前に乗り越えてきた「苦労」や「過程」の部分に焦点を当てて書かれた本です。

エピソードの種類によって、章が分けられているので、自分の読みたいエピソードの話を探して読むこともできます。

☆おすすめしたいポイント

この本では、たくさん偉人の失敗や苦労を知ることができます。

偉人や有名人と呼ばれる人たちは、テレビや本などで活躍している姿が目立ちますが、この本で活躍するまでの過程を見ることが、彼らをより身近に感じられるようになります。

偉人の中には、想像もつかないような、とんでもないエピソードもあり、読み物としても面白いです。

